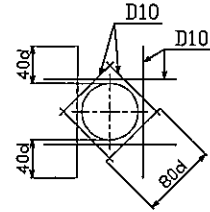
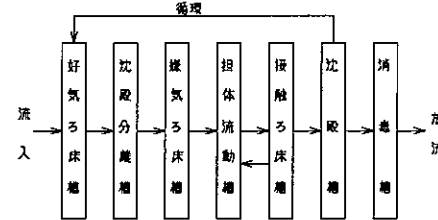


頂版開口図 S=1/40



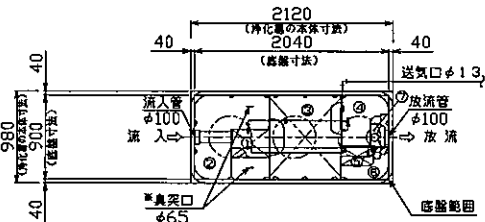
開口補強筋要領図 S=1/40



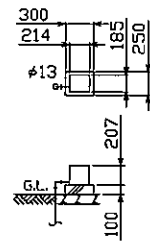
フローシート

仕様	
種類 / 型式	合併処理/KZII-7
処理方法	担体流動接触床処理方式
処理対象人員	7人
一人当り汚水量	0.2 m ³ /人・日
計画汚水量	1.4 m ³ /日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
BOD除去率	90%以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
T-N除去率	56%以上
流入水SS濃度	160 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
SS除去率	91%以上
有効容量 m ³	
① 好気ろ床槽	0.146
② 沈殿分離槽	0.605
③ 曝気ろ床槽	0.738
④ 担体流動槽	0.285
⑤ 接触ろ床槽	0.056
⑥ 沈殿槽	0.112
⑦ 清澄槽	0.015
総容量	1.957
電気機器仕様	
送風機	80L/分(0.015MPa) 100V, 48W, 1台

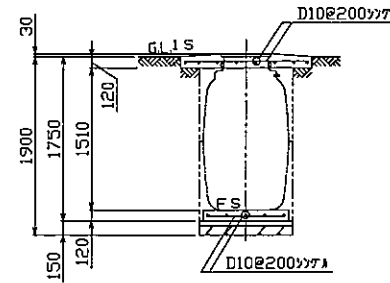
特記事項	
使用材料	コンクリート 鉄筋
配筋事項	選り手・定番長さ 全て40dとする
*砕石厚さの条件 (本図は砕石100mmとする)	
地盤	土質 岩盤・土層 砂礫・砂 シルト・粘土・ローム N値 N≥10 N<10 N≥10 N<2 N≥2
地盤(砕石) 厚さ(mm)	100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力 40 kN/m ² (想定)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 積雪1m以下の場所に設置して下さい。 施工時に地盤、地下水位を調査し、地耐力を確認して下さい。 要箇所の重量に耐える地盤に設置して下さい。 地下水位に応じて浮上防止をして下さい。 かさ上げが300mmを超えないようにして下さい。 本図はかさ上げ100mm時の施工図です。 かさ上げは必ず土層で200mm以上受けらるよう層間距離に応じて寸法を調整して下さい。 直埋浄化槽のタイプが異なる場合浄化槽の風上乗用車位置するよう配管して下さい。 その乗用車の寸法を現場の状況に応じて土層スラブの寸法を調整して下さい。 駐車車両は、重量2トン以下の車両となります。 製品全高は、±10mmの公差があります。 潮入吐出管は、製品全高に対して±10mmの公差があります。 浄化槽全高は、本体底厚を含む高さで表記。
*臭気管(排気管)について	<ul style="list-style-type: none"> 設置場所が風通しが悪く臭気がかかるような場合は排気ポンプ機がある場合は、必ず臭気配管(または換気管)工事をして下さい。 詳細は、施工要領書をご参照下さい。



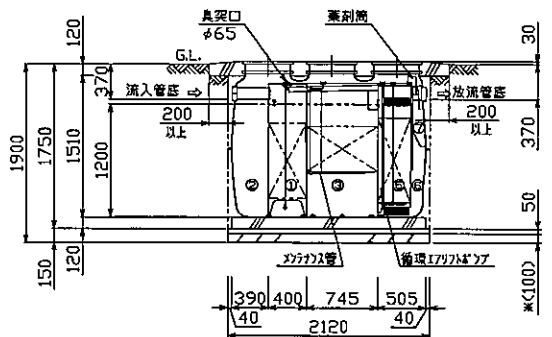
平面図 S=1/40



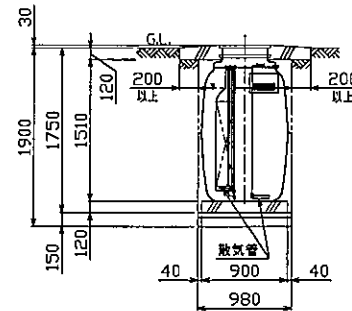
送風機 平面断面図



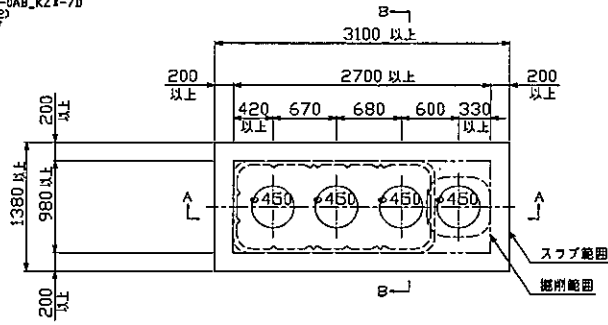
B-B断面配筋図 S=1/40



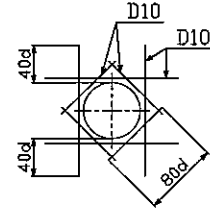
A-A断面図 S=1/40



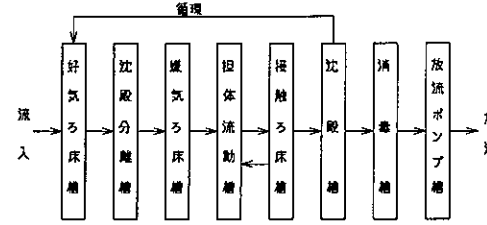
B-B断面図 S=1/40



頂版開口図 S=1/40

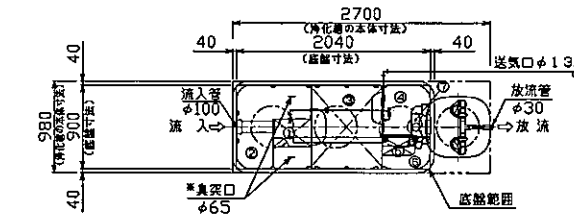


開口補強筋要領図 S=1/40

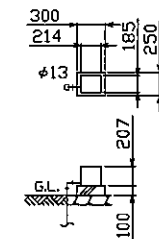


フローシート

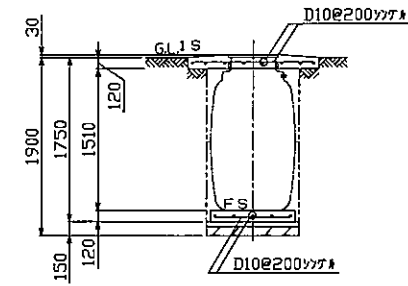
仕様	
種類 / 型式	合併処理ノズII-7 (D)
処理方法	担体流動接触ろ床処理方式
処理対象人員	7人
一人当り汚水量	0.2 m ³ / 人・日
計画汚水量	1.4 m ³ / 日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
BOD除去率	90%以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
T-N除去率	56%以上
流入水SS濃度	180 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
SS除去率	91%以上
有効容量 m ³	
① 好気ろ床槽	0.146
② 沈殿分離槽	0.605
③ 嫌気ろ床槽	0.738
④ 担体流動槽	0.285
⑤ 接触ろ床槽	0.056
⑥ 沈殿槽	0.112
⑦ 消毒槽	0.015
総容量	1.957
⑧ 放流ポンプ槽	0.060
電気機器仕様	
送風機	80L/分 (D. 015MPa)
	100V, 48W, 1台
放流ポンプ	40L/分×3.9m×D. 15kW×2台
	100V, フロートスイッチ付 自動交互運転



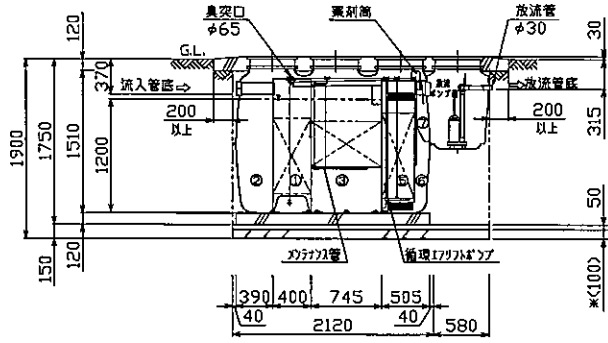
平面図 S=1/40



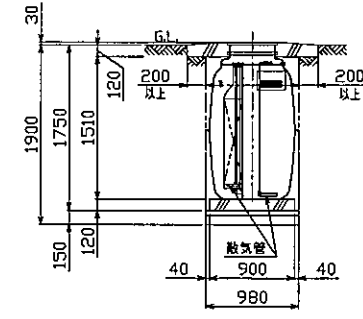
送風機 平面断面図



B-B断面配筋図 S=1/40



A-A断面図 S=1/40



B-B断面図 S=1/40

特記事項	
使用材料	コンクリート FC=21-18 (15)-20 (25) 但し、捨てコン・集筋コンクリートは FC=18N/mm ² 鉄筋 SD295A (商品名) 特記なき事項はJASS5による。
配筋事項	埋設手・定着長さ 全て40dとする
* 砕石厚サの条件 (本図は砕石100mmとする)	
地盤	土質 岩盤・土層 砂礫・砂 シルト・粘土・ローム N値 N≥10 N<10 N≥10 N<2 N≥2
地業 (砕石)	層別 地盤 砂利 砂利 砂利 厚さ (mm) 100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力 40kN/m ² (想定)
その他	・埋置1m以下の場所に設置して下さい。 ・施工時に地盤、地下水位を調査し、地耐力を調査して下さい。 ・埋置部の地盤に耐える地盤に設置して下さい。 ・地下水位に応じて浮上防止をして下さい。 ・かさ上げが300mmを超えないようにして下さい。 ・本図はかさ上げ100mm付の施工図です。 ・上層スラブは寸法で200mm以上及びその層間距離に応じて寸法を調整して下さい。 ・直埋浄化槽にタイプが異なる浄化槽の取付に適用が困難な場合があります。 ・その場合は取付位置や取付の状況に応じて上層スラブの寸法を調整して下さい。 ・埋置面は、総重量2以下の車両となります。 ・製品全高は、±10mmの公差があります。 ・流入送出管は、製品全高に対して±10mmの公差があります。 ・浄化槽全高は、本体取付寸法を減算して下さい。
* 臭突管 (排気管) について	・設置場所が風通しが悪く臭気がかかるような場合や放流ポンプ槽がある場合は、必ず臭突配管 (または通気管) 工事をして下さい。 ・詳細は、施工要領書をご参照下さい。